

「たくましい北方の子」を育む北方学園

～義務教育学校としての魅力～

北方町教育委員会 教育課

1 はじめに

北方町には、これまで中学校1校と小学校3校ありましたが、準備期間5年を経て、令和5年度から義務教育学校として北学園（児童生徒*1057名）と南学園（児童生徒*501名）の2校に再編し、これに町立こども園（園児*143名）を併せて北方学園として新たにスタートしました。*4月1日現在

2 開校、開園後の子どもの様子

4月が始まってすぐに、子どもたちの微笑ましい姿を見ることができました。1年生歓迎のセレモニーで、体格のいい9年生男子生徒が、ニコニコして1年生を抱っこしているのです。また、こども園を併設している北学園では、園庭から手を振る園児に、高学年が手を振り返っています。「授業中ですよ。」と、思わずたしなめたくなるところですが、これも願う姿の一つとしてみることができます。登校時には、前期課程の子と後期課程の子が手をつないでいる姿を見かけることができます。このような姿が作用しているのかもしれませんが、上級生（特に8・9年生）が下級生に優しく、温かく落ち着いた学校の雰囲気を生み出しているようです。そして、「大きくなったら〇〇さんみたいになりたいなあ。」と、小さい子が大きい子にあこがれたり目標にしたりしながら学校生活を送るという、好循環を期待しているところです。



9年生と遊ぶ1年生

3 北方学園の特色

北方町では、「15年カリキュラム、架け橋、北方科、ICT教育、英語教育」の5つの部会を設置し、特色ある教育を生み出しています。

① 幼保小中15年間の一貫教育

0歳から15歳までの一貫したカリキュラムや、文部科学省の指定を受けて幼保小の架け橋プログラムを作成し、切れ目のないように「主体的でたくましい北方の子」の育成を目指しています。教員は2年かけて作成した「15年間カリキュラム」を手掛かりに、幼保小、学年、教科等、単元や題材等の「つながり」を意識しつつ、また、校種の垣根を越えて知恵を出し合い、不断の授業改善に取り組んでいます。



15年カリキュラムをチェック

② 独自教科「北方科」の創設

ふるさとへの愛着を深めるとともに、未来を切り拓く力を育む独自教科「北方科」を実施しています。北方町の自然や産業といった様々な事柄を題材に、独自に作成した「北方科」の教

科書と指導案を基に、学年ごとに年間15時間を計画し、社会科や理科などの教科と結びつけながら学んでいます。時には、町内の方を講師として招いて、専門的に深く学んだり、その方の講話を通して生き方を考えたりすることもあります。教員にとっては、教科等の枠組みを超えた視点から授業を構想する力が鍛えられています。

③ 英語教育、ICT教育

楽しく学び合い、着実に力を付けられる教育環境を整えています。英語教育では、コミュニケーション力を伸ばすことに重点を置き、大学教授の方に指導を仰ぎながら、北方町としての「CAN DO リスト」を作成し、実践に生かしています。また、「英語フェスティバル」を開催し、英語による落語などを通して、親しみをもって英語を学ぶことができるように工夫しています。ICT教育では、主体的・対話的で深い学びを実現するツールとして、タブレットでアプリを使い、大型モニターを組み合わせたりしながら、子どもたちは積極的に自分の考えを表現して問題解決を図っています。



全員で仲間の説明を聞きながら
オンラインで作品を鑑賞

④ 教科担任制の推進

後期課程の学級担任が前期課程（主に5・6年生）の教科担任を受け持ったり、前期課程の学級担任が後期課程の教科担任を受け持ったりしています。子どもたちにとって、教科の専門性が発揮された授業を受けられることや、今まで以上にいろんな教員と関わることができることが好評となっています。教員にとっては、教科の系統性を見通すよい機会となり、これまでの小中学校の枠を超え、一つの学校ならではの魅力となっています。

4 今後の課題としたいこと

幼保小中職員間の連携やそれぞれが職務への理解を深めることで、子どもたちを見届け支援する体制が強化され、子どもたちの安心安全な学校生活がいっそう整います。また、多様な子どもへの理解も深まり、今まで以上に子どもに寄り添った関わりができるようになります。

これまでよりも、やることや考えることが多くなっていることもあり、例えば、これまで小学校勤務であった教員からは、「部活動の業務が苦である。」といった声上がることもあります。このように、これまでの経験にないことに出くわした時こそがチャンスと捉えるような意識の転換を図り、スキルアップからキャリア形成につなげられます。



「北方科」で地元の方や
高校生と環境調査

5 おわりに

今後、成果と課題を整理していくこととなりますが、成果については、数値となってすぐに現れにくい側面もあります。しかし、長い年月をかけてじわじわと現れてくる子どもの15年分の姿を、北方学園では一度に目にすることができるダイナミックなところがあります。よって、1校の中で学べることも多いです。ともに経験してみませんか！